

一九二二

三九

第十二特別根據地隊

昭和十九年十二月分戰時日誌

皇極秘

海軍功績勳章部長殿

十二特根機密第八號

四月十五日提出

5/12

1245

一	経過	目次
二	人員現狀	
三	令達報告等	
四	参考	
五	作戦経過概要	
六	兵器	
七	醫務衛生	
八	會計経理	

終

一 經過  
イ 敵情

印度洋方面ニ於ケル敵艦艇出現狀況ハ上月前月ト概テ同様不活潑ニシテ局部的ニ航空機及潜水艦ノ出現ヲ見タルモ中旬以降南印度洋近海ニ於ケル哨戒艇多數活潑(29測定)ニシテ指揮官級所乗艦船死(10D.U.)作戰特別緊急信及「ケツタゴン」カルカッタヨリ放送セラル、緊急信數急増シツ、アリシ巨大波ニ通信量大ナル矣等寸注目シ居リタル際二十日夕刻「スマトラ」島「ゴタラ」ジャバ及「サバン」方面ニ英艦載機ヲ以テスル小規模ノ來襲アリ 又下旬南印ニ出動セル艦艇多數及「ベリ」灣ニ出動セル艦艇捕提數「コンボ」方面中波系出現活潑ニシテ本月ノ最高潮ヲ示シ(29測定)「コックスバザ」以南海域ノ敵艦艇ノ行動活潑ナルニモ關聯シ「ビルマ」南西岸ニ對スル本格的策動ヲ企圖シアル旨大ニシテ警告ヲ要セリ

我軍ノ狀況

一 印度洋方面ニ於ケル敵ノ策動漸次活潑化シツアル際大ヨコ派遺隊ノ  
機宜ニ適セル敵情報告ハ西方部隊ノ作戦上寄与スル處大ニシテ其  
ノ功績極ノテ顯著ナリ

ニ アミアン諸島北端ヲブリパリス島附近航行中B124二機ノ反覆  
銃撃ヲ受ケ同島ニ退避擱挫セル陸軍船第一開運丸并シ一〇一號哨  
戒艇ヲ救助ノ為派遣シ遭難者全部ヲ無事收容投セリ

三 二十八日A船雲龍丸船団入港二十九日三十日兩日ヲ以テ揚塔作業  
ヲ無事完了セリ

然ルニ三十日同船出港後一ニニ六北緯一一度東經九三度一分ニ於テ  
敵潜水雷艇ヲ受ケ沈没 全艦艇ヲ以テ之ヲ掃蕩ヲ實施ス

作戦指導

一 我々企図

前月ニ全ジ

ニ行動訓練施設ニ関スル計画並ニ指導ナリ

(1) 前月來實施中ナリシ特攻兵器基礎實驗ハ概ネ終了セルヲ以テ  
本月初旬之ガ綜合實驗ヲ行ヒタリ

今回、各種實驗研究ノ結果特攻兵器ノ活用法ニ関シ多大ノ示唆ト  
教訓ヲ得ルト共ニ二式地雷、爆彈、防潜網用機雷、爆雷等ノ  
地雷的用法ニ関シテハ完全ナル成功ヲ齎シ得タリ

尚之ガ實驗具體化ニ関シ更ニ準備研究ヲ繼續中ナリ

(2) 前月實施セル教練射撃ニ於テ發見セル十五種砲々床構築ノ不備  
ニ関シテハ直ニ一〇一工部部員ノ出張ヲ求メ目下根本的ニ修理工事  
實施中ナリ

(3) 本月十日第二上防疫班「ナニヲヨリ」當地ニ進出完了直ニ防疫作業ヲ開始セリ  
(4) 其他従前ニ全ジ

人員現狀

第十二特別根據地隊

主要職員異動

其他前月全シ

月日	着退任先	官	氏名	記事
十一月一日	横鎮附転勤退隊赴任	中尉	大内 英藏	
十一月八日	四補充部転勤退隊赴任	兵曹長	下野 幸雄	
全右	全右	〃	鞠 武二	
十一月九日	十二特別根據地隊着任	兵曹長	武石 利夫	
全右	全右	〃	大石 正美	